

■ 発行 ■
2018年2月

vol.26

ファルマバレーセンター

E-Mail mail@fuji-pvc.jp

URL www.fuji-pvc.jp

「富士山麓から世界へ ～ファルマバレーは、いま!～」



〒411-0934 静岡県駿東郡長泉町下長窪1002-1 TEL: 055-980-6333 FAX: 055-980-6320

ファルマバレープロジェクト開始から15年 日本を代表する医療クラスターに



■ (一財)ふじのくに医療城下町推進機構の活動拠点
「ファルマバレーセンター(静岡県医療健康産業研究開発センター)」



(一財)ふじのくに医療城下町推進機構
理事長

大坪 檀 氏

東京大経済学部卒。カリフォルニア大大学院で日本人初のMBA取得。帰国後、ブリヂストンに就職。経営情報部長、米国ブリヂストン経営責任者、宣伝部長を歴任。1987年より静岡県立大経営情報学部教授、学部長、学長補佐。98年静岡産業大学学長、2013年より静岡産業大学総合研究所所長

平成29年8月、ファルマバレープロジェクトをより発展的に推進するための新財団「ふじのくに医療城下町推進機構」が発足した。本年4月の事業開始に向け、同財団の大坪檀理事長に今後の戦略と抱負を聞いた。

— ファルマバレープロジェクトが始まって15年が経ちました。

大坪 静岡がんセンターがある長泉町は、年収1,000万円以上の世帯が12%を占めるという調査結果が出ました。静岡がんセンターができ、関連企業が進出し、産業の集積が進んだ、つまりファルマバレーの推進がこうした所得水準の高い地域を生み出したと言ってもいい。将来の日本にとって、高度頭脳産業を中心とした新しいまちづくりが必要だということを、ファルマバレーは証明したのです。

— 着々と産業集積が進んでいます。

大坪 ファルマバレーでは、静岡がんセンターを中心に医師や看護師など医療現場のニーズを吸い上げ、地域企業の技術とマッチングさせています。ニーズが分かって

いるものに取り組むことで、リスクヘッジをしています。こうした道筋をつくったことは高く評価したいですね。

— 重点的に取り組む内容をお願いします。

大坪 すでに静岡がんセンターでは手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入していますが、AIやITをもっと医療分野に取り入れたい。また、フーズ・サイエンスヒルズやフォトンバレーなどの県内クラスターとの連携も考えています。特に、フォトンバレーを展開する県西部地域はこれから大革命が起きる時です。ぜひ、新しい光技術を医療分野に展開したいですね。

ファルマバレーは新しい概念を世に送り出しました。理事長を引き受けたのも、健康長寿の取り組みがビジネスになり、それが人の暮らしを豊かにするからです。これは健康長寿に貢献する世界的なプロジェクトなのです。



■ファルマバレーセンターと入居企業2社の打合せ

研究開発拠点の成果着々

平成28年9月の研究開発拠点のフルオープンから1年が経過し、入居企業の活動も本格化。ファルマバレーセンターのコーディネータ、ラボマネージャーの取り組みにより、入居企業同士の連携や地域企業との連携の成果が現れてきている。

ファルマバレーセンターの取り組みを中心に広がるプロジェクトを紹介する。

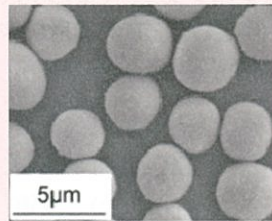
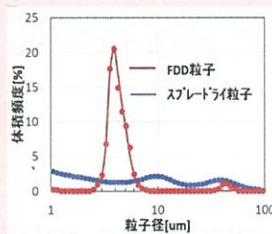
均一な微粒子で医薬品の薬剤特性を向上

（株）リコー

ファルマバレーセンターに入居する株式会社リコーは、トナーの製造やプリンタヘッドで培った造粒技術「Fine Droplet Drying (FDD) 技術」の医療健康産業への展開を目指している。FDD技術は、粒子径の揃った直径数マイクロメートルの微粒子を作成できるもの。医薬製剤に応用することで吸収性の改善など、薬剤の特性の向上が期待されている。

同社はファルマバレーセンターの支援で、静岡県立大学薬学部の尾上誠良教授と共同でこの技術の確立に向けた取り組みを行っており、呼吸器疾患向けの吸入製剤等への応用が見込まれている。昨年5月の日本薬剤学会第32回年会では、FDD技術を用いた製剤化に関する発表が最優秀発表賞を受賞するなど、新たな製剤方法として国内外の製薬業界から注目されている。

インクジェットヘッドから非常に細かな液滴を高速で噴射したものを超高速で乾燥させることで、直径数マイクロメートルの微粒子を均一に作成する技術。



■Fine Droplet Drying (FDD) 技術

入居企業間連携で製品開発が加速

－深澤電工(株)、ヤザキ工業(株)

深澤電工株式会社は昭和37年創業の長泉町の地元企業。電子機器の製造、プリント基板の実装等の業務で培った技術力を活かし、医療機器の開発に取り組んで

いる。ファルマバレーセンターへ入居し、医療業界や他企業との連携を加速、歯科医療現場のニーズに対応した歯周ポケットの深さを測る機器を開発した。装置は一定荷重をかけて歯周ポケットにプローブを差し込み、深さを電氣的に計測するもので、従来の目視に頼った計測方法に比べて短時間で正確な計測が可能になる。

平成30年度中の商品化を目指しており、同じく入居しているヤザキ工業株式会社から部材提供を受ける予定だ。昨年12月には第二種医療機器製造販売業許可を取得。ファルマバレーセンターの支援を活用して医療健康産業への足掛かりを築いている。



■開発された歯周ポケット測定器の試作品

地域企業と連携し 海外への販路開拓 事業を展開

—— (株)タウンズ

ファルマバレーセンターは、経済産業省の委託事業を活用し、地域企業の海外への販路開拓を推進している。今年度はインフルエンザ等の迅速検査キットの国内主要メーカー株式会社タウンズ(伊豆の国市)の、主に欧州エリアへの製品展開をサポート。昨年11月にドイツで開催された医療分野における世界最大規模の展示会「MEDICA2017」では、商談の確度を高めるため、ターゲットの事前スクリーニングを行うと共に、現地のJETRO事務所や海外コンサルティングと連携して情報収集を支援し、海外ディストリビューター(販売代理店)の新規獲得に繋がっている。

今後も新たなエリアへの出展や、新製品の国際機関の認証取得を視野に事業を企画・推進していく予定だ。



■タウンズの出展(診断薬エリア)



■MEDICA2017(独・デュッセルドルフ)

静岡がんセンターで ファルマバレー関連 製品をPR

昨年6月、静岡がんセンターで医用機器等製品展示会が開催された。ファルマバレーセンター入居企業のみならず、地域企業が開発、製造・販売している医療機器など、

医療現場のニーズから生まれた製品が多数展示された。会場には静岡がんセンターをはじめ、近隣の医療機関の医師、看護師等の医療従事者や、医療機器の専門商社などが訪れ、製品に関する質問や意見交換が活発に行われた。

臨床現場と地域企業との連携をサポートすることもファルマバレーセンターの大きな役割のひとつであり、本展示会のほか、ファルマバレーセンター入居企業に対する静岡がんセンターの院内見学会を行うなど、一層の連携強化を進めている。



■静岡がんセンター内の院内展示会の様子

世界も注目、ファルマバレープロジェクト～センターに視察相次ぐ

平成28年9月の研究開発拠点「ファルマバレーセンター」の開所以来、国内外からの視察が増加している。内閣府など国の機関をはじめ、愛知県議会、兵庫県議会など数多くの機関が視察に訪れた。今年度は中国からの視察が急増。静岡県が友好提携している浙江省をはじめ、黄海に面し経済規模が大きな山東省や、漢方原料の生産地であり医薬品

メーカーが数多く立地する雲南省など、中国各地から視察団が来訪している。

海外からの視察団は、医療健康産業の育成や企業交流を目的に来所し、ファルマバレーセンターの企業支援の取組状況や、拠点入居企業の技術などについて熱心に質問するなど、先進例としてのファルマバレープロジェクトに熱い視線を送っている。



■植田所長の説明を熱心に聞く中国雲南省の視察団

問合せ先

● ファルマバレープロジェクトに関すること

静岡県経済産業部商工業局 新産業集積課 電話 054-221-2985 メール trc@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-580/pharma/index.html>

● 企業支援に関すること

(公財)静岡県産業振興財団ファルマバレーセンター 電話 055-980-6333 メール kikaku@fuji-pvc.jp URL www.fuji-pvc.jp

ファルマバレープロジェクトセミナー開催 「首都圏に向け成果と新法人設立を発表」

昨年12月19日、ファルマバレープロジェクトの成果と最新情報を紹介するセミナーを都内で開催した。公益財団法人ヒューマンサイエンス振興財団の竹中登一会長による創薬の現状についての基調講演をはじめ、一般財団法人ふじのくに医療城下町推進機構の大坪檀理事長から新法人設立の報

告、企業からプロジェクトの最新成果等の紹介を行い、参加者からはプロジェクトの今後の展開に期待する声が聞かれた。

また、セミナーには県東部地域の市町も参加し、産業集積の状況や立地環境の他、目玉政策や地場産品をアピールしてファルマバレー地域の魅力を発信した。



■挨拶をする川勝平太知事

かかりつけ湯がアスルクラロ沼津と共同キャンペーン

健康増進と癒しのサービスを提供する伊豆の温泉宿のネットワーク「かかりつけ湯」。本年度は、沼津市に本拠地を置くJ3所属のプロサッカーチーム「アスルクラロ沼津」と提携し、日帰り温泉や宿泊がお得に楽しめる「アスル温泉」キャンペーンを展開。愛鷹グラウンドで行われるアスルクラロ沼津のホームゲームでPRやチラシ配布を行った。かかりつけ湯の島田善一代表幹事

(旅館立花社長)は「この取り組みで、サッカーファンにかかりつけ湯を知ってもらいたい」と期待する。

日帰り温泉は、チケットの半券やユニフォーム、応援グッズを提示すると、料金の割引やドリンクサービスが受けられる(3月末まで)。また、宿泊プランではさまざまな特典に加え、抽選で100人にオリジナル手ぬぐいをプレゼントするなど好評であった。

※宿泊プランは平成29年12月末で終了



■共同記者発表で挨拶する関係者

参加募集

静岡がん会議2017

「静岡がんセンター15年のあゆみとこれから」

静岡がんセンターが2002年に開設して15年、「患者さんの視点の重視」を基本理念として、最善のがん医療の提供や相談支援体制の充実により、患者さんに優しい病院として日本を代表するがんセンターに育った。

本会議は、最先端のがん医療や

遺伝子研究、患者家族支援体制などの静岡がんセンターが積み重ねてきた実績や現状、さらには地域の医療・健康産業活性化を目指すファルマバレーセンターの成果や今後について紹介し、新たな時代の「理想のがん医療」につなげていくことを目的に開催する。



■昨年度の開催風景

日時 2018年3月3日(土) 10:00~17:15

場所 静岡がんセンター研究所棟1階 しおさいホール(静岡県駿東郡長泉町下長窪1007)

問合せ 静岡県立静岡がんセンター疾病管理センター TEL 055-989-5222(内線2118)